



第3会場●4F 視聴覚室

■司 会／永田 春美 長崎県教育庁生涯学習課 係長
江崎 義朗 福岡県教育庁北九州教育事務所 主任社会教育主事

分科会の進め方

10:45~10:50

1

新しい生活様式に対応した子どもたちの体験活動の創出事例と、 「親になる前の青年層」や「就職氷河期世代」の学びの必要性

10:50~11:20

大神 健治(福岡県古賀市) 一般社団法人STANDARD KOGA 代表理事
井手口 誠(福岡県古賀市) 一般社団法人STANDARD KOGA コーディネーター

当法人は2020(令和2)年度に文部科学省「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」を受託し、古賀市を拠点に福岡県そして大分県・佐賀県・長崎県さらには山口県で「新しい生活様式に対応した、子どもたちの屋外での体験活動」の創出に取り組んだ。

これを契機に出会った子どもたちのストレス、学校教育の現場の疲弊、保護者の皆様の困惑、行政職員さんたちの情熱、社会教育・生涯学習の重要性について報告を行う。

2

地域学校協働本部とコミュニティ・スクールの効果的な仕組づくり ～中津市今津校区の協働の取り組みから～

11:30~12:00

金丸 隆(大分県中津市) 中津市教育委員会社会教育課 今津コミュニティーセンター 館長

中津市初の「今津校区コミュニティ・スクール」(設立:2019(平成31)年4月)の仕組みづくりの発表。準備段階(2018(平成30)年)から「校区ネットワーク会議(地域学校協働本部)」と「いきいき今津まちづくり協議会」等が、学校運営協議会と地域学校協働本部の効果的な位置づけ、関係性について協議している。

発足後、学校と学校運営協議会をまちづくり協議会が下支えし、地域住民も学校の教職員も当事者意識を持った協働活動が生まれている。

3

「ぼくのまちわたしのまちプロジェクト」

12:10~12:40

松本 雅知(広島県廿日市市) 廿日市市串戸市民センター 所長
福松 拓誠(広島県廿日市市) 廿日市市串戸市民センター 社会教育担当

市民センター(地区自治協議会、関係団体)を中核にした、若者たちの「居場所づくり」活動。このプロジェクトでは、子どもを主役に、世代間交流と次世代育成を大きなテーマとして実施している。活動形態は、学校・大学との連携や地域関係団体との連携・協働の取組。財源は、補助事業獲得費や参加者負担金等。

市民センターを拠点とし、市民を主体とした「まちづくり」活動が「シビックプライド(都市に対する市民の誇り)」「自己肯定感の育み」や「地域の人材発掘・育成」に繋がっている。